

令和2年度

仙台市自動車運送事業会計
決算説明資料

- 1 決算の概況
- 2 事業実績表
- 3 予算決算比較表
- 4 建設改良事業の概要

仙台市交通局

1 決算の概況

本年度の自動車運送事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により乗車料収入が大幅に減少するという厳しい経営状況のなか、本市域における主要な交通機関の一つとして、市民生活を支える役割を将来にわたり果たしていくため「仙台市自動車運送事業経営改善計画」に基づき、安定的なサービス提供に向けた経営体質の構築とお客様サービスの向上に取り組んでまいりました。

安全運転の強化等に向けた取組みとして、乗務員の安全意識及び接遇の向上を図る研修において、外部講師、ドライブレコーダーを活用するとともに、経験年数の短い乗務員に対する添乗指導及び運転技術等を乗務員同士が互いに確認、共有する路上運転研修を継続し、更なる安全意識の向上に努めました。また、令和元年東日本台風の被害等を踏まえ、お客様及び職員の安全を確保するとともに、車両の被害を最小限に抑え、早期の運行再開を行うために、「計画運休」を導入しました。

感染症拡大防止の取組みとして、バス全車両を対象に車内の抗ウイルスコーティングを実施したほか、運転席の周囲に防護スクリーンを設置しました。

経営の効率化及び改善に向けた取組みとして、令和2年4月のダイヤ改正において運行経路の見直しや需要動向に応じた便数調整を行うとともに、営業所等におけるバス運転業務等の管理の委託を継続し、経費削減に努めました。

サービスの向上に向けた取組みとして、バスの接近状況が確認できるバスロケーションシステム「どこバス仙台」の案内機能の改良を実施しました。このほか、バリアフリー化の推進及び環境対策として、低公害ノンステップバスの導入を進めました。

利用促進に向けた取組みとして、近隣市の中学校に在籍する3年生を新たに対象に加え、一日乗り放題となる無料乗車券「中学3年生卒業おめでとうきっぷ」を配付したほか、雑誌やテレビ番組とのタイアップにより、バス路線沿線の観光や飲食店の情報提供を引き続き行いました。

このような状況のなか、乗客数は27,906千人（1日平均76,454人）と前年度に比較して9,665千人、25.7パーセントの減となり、乗車料収入（消費税及び地方消費税抜き）は48億3千3百万円（敬老乗車証負担金及びふれあい乗車証負担金を含む。）と前年度に比較して15億9千9百万円、24.9パーセントの減となりました。この結果、収益的収支（消費税及び地方消費税抜き）においては16億6千1百万円の純損失となり、当年度未処理欠損金は61億3千万円となっております。

今後も新型コロナウイルス感染症の影響等により、厳しい経営状況が続くものと見込まれますが、お客様の安全・安心を最優先として、感染症拡大防止対策に取り組むほか、本年度末に新たに高速鉄道事業と合わせて策定した「仙台市交通事業経営計画」に基づき、経営基盤の強化に向けた取組みを着実に進めながら、次の時代にも市民の皆様にとって身近な公共交通機関としての役割を果たせるよう努めてまいります。

2 事業実績表

区 分	年 度	単位	令和2年度 (C)	令和元年度 (D)	対 前 年 度 比 較	
					増減(△減) (C)-(D)	比 率 (C)/(D)%
営 業 キ ロ		km	568.6	568.4	0.2	100.0
在 籍 車 両		両	472	480	△ 8	98.3
年間走行キロメートル		km	16,482,196	16,890,241	△ 408,045	97.6
乗 客 数	定 期 外 (A)	人	18,382,795	24,963,880	△ 6,581,085	73.6
	定 期	人	9,522,780	12,607,260	△ 3,084,480	75.5
	計 (B)	人	27,905,575	37,571,140	△ 9,665,565	74.3
	一 日 当 り	人	76,454	102,653	△ 26,199	74.5
乗車料収入	定 期 外	千円	3,611,677	4,906,455	△ 1,294,778	73.6
	定 期	千円	1,221,002	1,525,599	△ 304,597	80.0
	計	千円	4,832,679	6,432,054	△ 1,599,375	75.1
	一 日 当 り	千円	13,240	17,574	△ 4,334	75.3
職 員 数 (管 理 者 除 く)		人	(237)	(227)	(10)	104.4
		人	338	328	10	103.0
輸送人員定期外比率 (A)/(B)		%	65.9	66.4	△ 0.5	—

(注) 1 乗車料収入の金額は、消費税及び地方消費税抜きである。

2 職員数の()は、乗務員の数を示す。

3 予算決算比較表

(収益的収支)

(単位：千円)

区 分 科 目	令和2年度予算額				令和2年度 決算額 (B)	増減額 (△減) (B)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△減)	流用増減額	合計 (A)		
自動車運送事業収益	10,297,728	△1,371,165	0	8,926,563	8,625,001	△ 301,562
営業収益	7,326,370	△1,824,930	0	5,501,440	5,456,858	△ 44,582
運送収益	7,065,993	△1,824,930	0	5,241,063	5,204,517	△ 36,546
運送雑収益	260,377	0	0	260,377	252,341	△ 8,036
営業外収益	2,971,348	453,765	0	3,425,113	3,164,956	△ 260,157
受取利息及び配当金	20	0	0	20	14	△ 6
他会計補助金	2,875,545	383,096	0	3,258,641	3,006,534	△ 252,107
国庫補助金	0	20,012	0	20,012	20,981	969
消費税及び地方消費税還付金	0	50,657	0	50,657	37,842	△ 12,815
長期前受金戻入	78,566	0	0	78,566	70,683	△ 7,883
雑収益	17,217	0	0	17,217	26,232	9,015
県補助金	0	0	0	0	2,670	2,670
特別利益	10	0	0	10	3,187	3,177
過年度損益修正益	10	0	0	10	3,067	3,057
その他特別利益	0	0	0	0	120	120
自動車運送事業費用	11,350,898	△ 684,005	0	10,666,893	10,225,933	△ 440,960
営業費用	11,213,861	△ 635,994	0	10,577,867	10,214,810	△ 363,057
人件費	4,555,400	△ 361,872	0	4,193,528	4,062,030	△ 131,498
経費	5,748,033	△ 274,122	0	5,473,911	5,317,614	△ 156,297
減価償却費	910,428	0	0	910,428	835,166	△ 75,262
営業外費用	87,027	△ 48,011	0	39,016	11,123	△ 27,893
支払利息及び企業債取扱諸費	22,842	10,209	0	33,051	6,941	△ 26,110
消費税及び地方消費税	58,220	△ 58,220	0	0	0	0
雑支出	5,965	0	0	5,965	4,182	△ 1,783
特別損失	10	0	0	10	0	△ 10
過年度損益修正損	10	0	0	10	0	△ 10
予備費	50,000	0	0	50,000	0	△ 50,000
当年度純損益（税込み）	△ 1,053,170	△ 687,160	—	△ 1,740,330	△ 1,600,932	139,398
当年度純損益（税抜き）	△ 1,121,529	△ 687,081	—	△ 1,808,610	△ 1,661,164	147,446
繰越利益剰余金 (△繰越欠損金)	△ 4,468,745	0	—	△ 4,468,745	△ 4,468,745	0
未処分利益剰余金 (△未処理欠損金)	△ 5,590,274	△ 687,081	—	△ 6,277,355	△ 6,129,909	147,446

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、当年度純損益（税抜き）、繰越利益剰余金及び未処分利益剰余金については、消費税及び地方消費税抜きの額である。

(資本的収支)

(単位：千円)

区 分 科 目	令和2年度予算額					令和2年度 決算額 (B)	増 減 額 (△ 減) (B)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△ 減)	流用増減額	繰越額	合 計 (A)		
自動車運送事業資本的収入	1,193,260	0	0	34,000	1,227,260	1,017,845	△ 209,415
企 業 債	756,000	0	0	34,000	790,000	647,000	△ 143,000
出 資 金	365,000	0	0	0	365,000	365,000	0
他 会 計 補 助 金	24,260	0	0	0	24,260	0	△ 24,260
県 補 助 金	9,500	0	0	0	9,500	5,830	△ 3,670
国 庫 補 助 金	38,500	0	0	0	38,500	0	△ 38,500
固 定 資 産 売 却 代 金	0	0	0	0	0	15	15
自動車運送事業資本的支出	1,663,785	0	0	34,716	1,698,501	1,465,048	△ 233,453
建 設 改 良 費	831,351	0	0	34,716	866,067	663,447	△ 202,620
企 業 債 償 還 金	800,424	0	0	0	800,424	800,424	0
投 資	2,000	0	0	0	2,000	1,177	△ 823
そ の 他 資 本 的 支 出	10	0	0	0	10	0	△ 10
予 備 費	30,000	0	0	0	30,000	0	△ 30,000
差 引	△ 470,525	0	0	△ 716	△ 471,241	△ 447,203	24,038

補 て ん 財 源	△ 544,862	△ 717,348	1,083	3,156	△ 1,257,971	△ 1,185,716	72,255
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	67,955	0	0	3,156	71,111	59,764	△ 11,347
損益勘定留保資金	800,645	△ 30,267	1,083	0	771,461	707,617	△ 63,844
当年度純損益	△ 1,121,529	△ 687,081	0	0	△ 1,808,610	△ 1,661,164	147,446
前年度繰越金	△ 291,933	0	0	0	△ 291,933	△ 291,933	0
特別減収対策企業債	0	1,300,000	0	0	1,300,000	1,150,000	△ 150,000
当年度末資金剰余額	△ 1,015,387	582,652	1,083	2,440	△ 429,212	△ 482,919	△ 53,707

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、補てん財源及び当年度末資金剰余額については、消費税及び地方消費税抜きの額である。

○資金不足比率

(単位：千円，%)

資金不足額 (※1) (a)	事業規模 (※2) (b)	資金不足比率 (a)/(b)
482,919	5,066,443	9.5

※1 資金不足額については、解消可能資金不足額1,150,000千円を控除した額である。

※2 事業規模＝営業収益－受託工事収益（消費税及び地方消費税抜き）

4 建設改良事業の概要

(単位：千円)

科 目	令和2年度 事業費	主たる事業
建 物	43,395	駐車場管理棟休憩室改修
車 両	552,716	ノンステップバス購入 25両
工 具 ・ 器 具 ・ 備 品	23,537	営業所勤務管理システム更新
構 築 物	35,696	高圧受変電設備更新
施 設 利 用 権	216	水道加入金
その他無形固定資産	7,887	バスロケーションシステム改良
計	663,447	

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。